

地域資源を活用した再生可能エネルギーの生産・利用のためのプロジェクト
木質リグニンからの材料製造技術の開発

研究成果
発表会

地上最大量の芳香族化合物 『リグニン』のマテリアル利用 —国産森林資源活用の切り札として—

リグニンは木質バイオマスの約3割をしめる成分で、木質バイオエタノール製造工程や紙パルプ製造工程において副産しますが、材料としては十二分に利用されていません。我々は新たな産業の創出をめざし、リグニンに機能性を付与することを研究しています。未利用バイオマスであったリグニンを高付加価値利用する事で、リグニン供給原である森林の価値を高めることによる地域活性化、地方創生に貢献することを目指しています。



日時 平成27年 **10月5日(月)** 午後1:30~5:00

会場 木材会館 7F大ホール

東京都江東区新木場1-18-8 (新木場駅前)

参加無料・事前登録制

参加登録方法:

下記メールアドレス宛に 氏名 および 所属機関を
御連絡ください。 lignin2015@ffpri.affrc.go.jp



講演

・マテリアル利用可能なリグニン

—基礎知識、機能性付与、炭素材料、品質管理—

森林総合研究所 バイオマス化学研究領域 木材化学研究室長 山田竜彦
同室研究員 高橋史帆

・新たなリグニン系コンクリート用化学混和剤の開発

株式会社日本触媒 主任研究員 湯浅 務

・リグニンを原料とする電気二重層キャパシタの開発

北海道大学大学院 教授 浦木康光

・リグニン源としての国産森林バイオマスの供給システム

森林総合研究所 林業工学研究領域長 陣川雅樹

・国産森林資源を用いたリグニン産業モデルの評価

株式会社 ドーコン 技師 本間春海

総合討論 ・地域の森林資源のリグニンを活用した新産業創出の可能性



主催: 国立研究開発法人 森林総合研究所
共催: 農林水産省農林水産技術会議事務局